

# 水辺だより

1994年2月

あれよあれよというまにまに、2月が過ぎ去ろうとしています。毎日、似たような日々のように、確実に違う時間が流れていきます。皆さんの1994年の2月はいかがでしたか？

## 会費納入の再度お願い

多くの会員さんから今年度の会費をいただきました。ありがとうございました。これを読んで「あっ、忘れてた。」という方は、明日にでも郵便局に走り、お振込してくれるとうれしいです。個人会員は2,000円です。ぜひご継続お願いいたします。  
(団体会員は10,000円です)

郵便振替 新潟4 12015 新潟の水辺を考える会

☆まだ未納の方には、再度 振込み用紙を同封しました。

## 水辺99選、まだまだ募集中です！

去年から募集をはじめました『新潟の水辺99選』、一体どのくらい集まったかという、実はちょっと言うのが恥ずかしい程度しかまだ集まっていません。なぜかなあ？賞品とか用意して、期限を設定すると皆さん応募していただけるのでしょうか。残念ながらその予定は今のところありませんが、こちらこそぜひぜひよろしくお願いします。1人が何箇所推薦しても構いませんし、会員以外の方でもOKです。フォーマットの用紙を同封しましたので、コピーして何枚でも使って下さいね。あなたのお便りをお待ちしています。

2月27日(日) 13:00~ 坂井輪公民館

水辺の会・定例会 <江戸時代の河川技術について>

お時間ある方は、ぜひおいで下さい

前号でもお知らせ

## 川の工事について

小林行雄

今日は2月の第1日曜日。この時期にはめずらしく、家でのおんびりとくつろいで、この原稿を書いております。

私は八木さんの紹介にもありましたように、県内の河川やその附属施設（水門など）の設計に携わっております。河川は皆さんのごく身近にあるわけですが、その河川がどのような方法で計画され、そして事業が行われているかという情報があまりにも少ないといつも感じておりますので、今日はその辺りの話題を提供したいと思います。

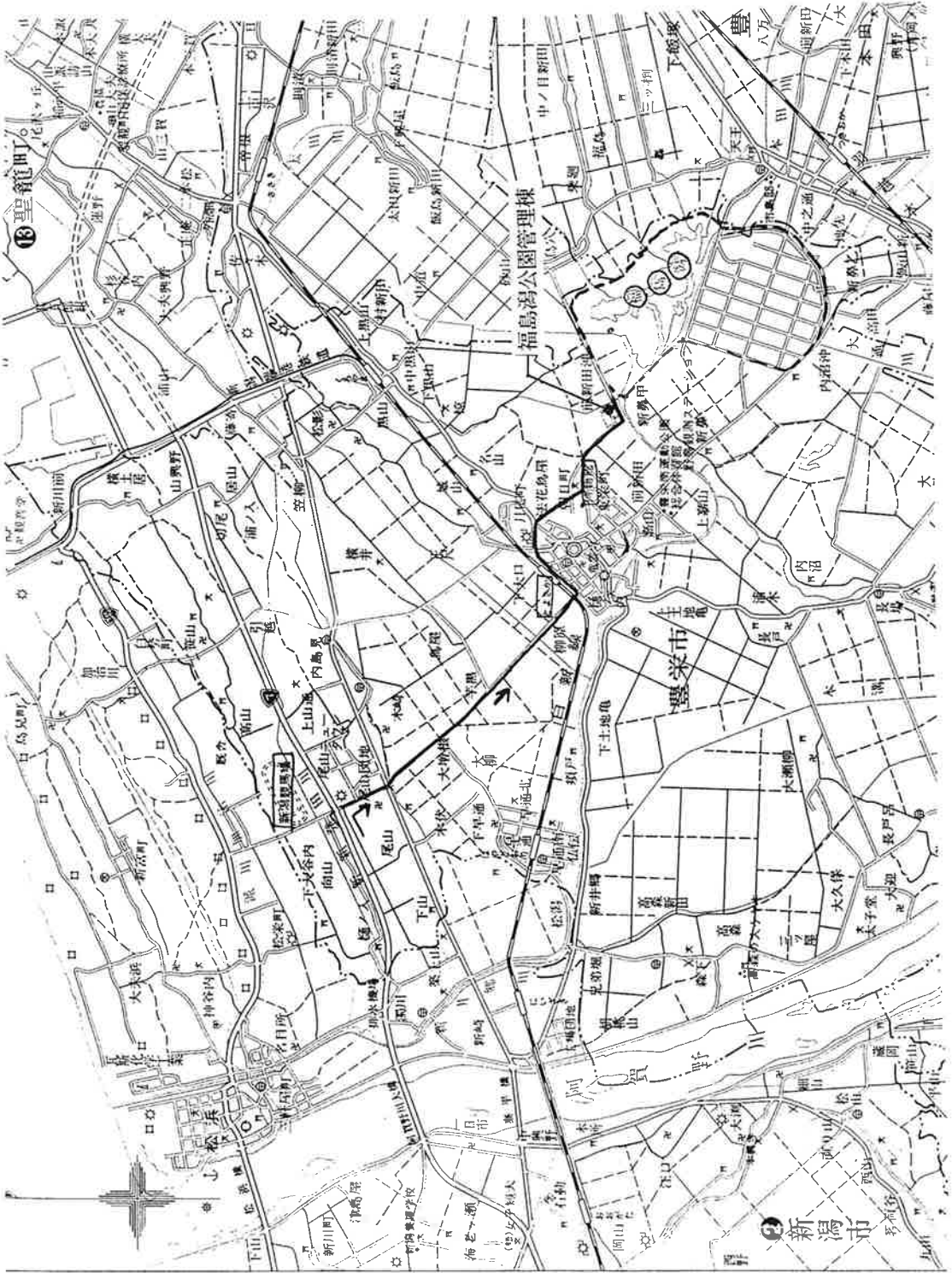
まず、河川といえば洪水を海に流す道であります。洪水の発生の仕方には大きく分けて二つあります。一つはピーク型（一般的な呼び名ではありません）ですが、これは集中豪雨によるもので、短時間に沢山の雨が降ってそれが川に集中して主に平野部で氾濫して大きな被害を与えるものであります。（S42. 8. 26型）

もう一つは、いわゆる梅雨型といわれるもので、10～20mm/hr（1時間当り10～20mm）程度の雨が二日以上ダラダラと続いて洪水被害を起こすものであります。（S53. 6. 26型）

一般的に信濃川や阿賀野川を除いた河川（中小河川といいます）の計画は、前者のピーク型の洪水について作成されます。この場合ふだんはチョロチョロとしか流れていない小川が、その川幅や水深が十数倍もある大きな河川に改修されます。皆さんも小さな川を、こんなに大きくする必要があるのかと素朴な疑問をもった方もいるのではないのでしょうか？。確かに日本の川は急流でこのような断面が必要となるのですがその継続時間は1～2時間程度であり、発生する確率は20～50年に1回程度しかありません。しかしながら、その時の洪水のエネルギーは大きく、ひとたび氾濫した場合は甚大な被害を与えるため、護岸等は強固なもの（コンクリートブロック等）でなければなりません。現在水辺の会の方々に批判されるような河川はこのような経過で作られてきました。

近年は、皆さんもご存じのように（この会の主旨でもありますが）、昔のような豊かな自然のある河川空間が望まれています。河川が安全であることと、自然が豊かであることとは、これまでの経過を見てわかるように相反する二面性を持っております。土堤は流水に洗いだされ破堤の危険性が高く、また曲がりくねった滞筋や、繁茂する草木は洪水の妨げになります。これからの河川事業は従来のこのような河川の姿を復元し、さらに周辺地域を洪水から守らなければなりません、これは難しい問題です。

現状では、このような要望に答えるため、自然石を使った河岸工事が多く行われていますが、これはその川に、本来異質である他地域の石材を持ち込むためあまり感心した方法ではありません。その他、木工沈床など江戸時代に使われた工法などを持ち込んだりしていますが、やはり強度や耐久性に不安のある材料です。



福島潟公園  
管理棟へ  
ご案内

新潟バス  
豊栄IC下り

↓  
豊栄方面にむかう

↓  
豊栄駅前を通り

↓  
博物館へむかう

↓  
そこから  
もうすぐです。

至新潟 至新潟 至にいがた

新潟の水辺99選

名称	
場所	市 町 郡 村
地図 (略図)	
推薦理由	
推薦者	名前 住所 〒

水辺の種類

1. 河川 2. 海 3. 湖沼 4. 潟 5. 池 6. 清水・湧水  
7. 滝 8. 人工物 9. その他 ( )

現場の状況

写真もしくは  
スケッチ添付

Tel.

現在河川事業はこの問題に取り組みはじめたばかりで、試行錯誤を繰り返しているというのが現状ですが、いずれにしても護岸工法を多少工夫したくらいでこれまでの問題が解決されるとは思えません。前述したように洪水のピークは短時間ですので、流域全体の地形を利用してこれをどこかに貯水すれば、相当小さな洪水に対処すればよいことになり、ひいては小さな河道でも安全性を高めることが可能となりますし、比較的弱いけれども自然環境の保全に有効な護岸工法も可能となります。しかしながら、この方法は地域計画などに制限を与えることになりほとんど実施されておりませんが、私個人としてはPR活動など積極的に行いこの手法を徐々に進めてゆくことが最も近道だと感じております。

河川改修の技術は、このように新しい方向に進んでおりますが、いずれは私達が子供のころ遊んだようなあの川の風景がよみがえるものと信じて日々勤しんでおります。

私は、自ら「河川屋」と称して（誰もいってくれませんので）おりますが、本会の会員でありながらほとんど川で遊んだことがありません。多少後ろめたい気分での文章を書いております。蟲のいい話しですが、その辺のところを会員の皆様方との交流の中でご教授いただければ幸いと存じております。

小林さん、ありがとうございました。川の工事に直接関わる立場からの話題提供でした。なかなか一筋縄ではいかないのが河川事業ですね。

ただいま、去年行なったシンポジウムの石城先生の講演をまとめている最中で、その中で今の河川工事はあまりにも専門家の手にゆだねられすぎているというような指摘があります。確かに、難しそうな計算を行なって断面を設定したり、流量を計算したりするのを見ると、わたしなんか全然ついていけないわと思ってしまう。だけど、本当はそれは違って、住民の私たち1人1人も専門家の人達、役所の人達と同じように、現在の社会状況およびシステムをつくりだしていることに違いはないと思います（全ての状況について言えることではありませんが）。例えば、住民側には「知ろうとしない責任」みたいなものがある気がします（一部の方々は一生涯懸命活動していらっしゃいますが）。

う～ん、なんか固くなっちゃいました。というわけで次号は関川村の佐藤修一さんをお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

## 信濃川・千曲川 交流会 in 阿賀野川・福島潟

信濃川・千曲川交流会の詳細日程が以下の通り決まりました。2日目の福島潟ウォッチングには参加申し込みしていない人でも自由参加ですので、時間の都合がつく方は、是非おいでください。

3月12日(土) 14:45 三川村ドライブイン阿賀の里 集合  
15:00  
    ) 阿賀野川 舟下り  
16:00  
16:30 咲花温泉ホテル丸松にて、意見交換会  
懇親会

3月13日(日) 9:30 福島潟公園 管理棟前集合 (前と場所が変更になりました)  
11:30 福島潟で解散(予定)

当日は、福島潟インストラクターが揃っています。

### 編集後記

今回は、川口さんがとてもとても、もひとつついでにととても忙しい状態なので、八木が書いてます。その八木から、皆様へ再度のインフォメーションです。3月26日は、万障お繰り合せの上、なにとぞ万代市民会館へおいでください。今回はチラシを同封しましたので、お友達、ご家族をお誘い合せ下さい。噂では、既にスキーの予定をキャンセルして、楽しみにしてくださる会員さんがいるとのこと。うれしいなあ。新潟で開催される今年1番の講演会と私は信じています。もし、「チラシをまいてあげるよ」という方は、すぐさま八木までご連絡ください。それでは、会場でお待ちしています。

### 新潟の水辺を考える会

〒950-21 新潟市大学南1丁目7821-5  
電話 (025) 263-2733